

資料

令和5年2月14日

文教警察委員会資料

茨城県警察本部

【目次】

(ページ)

令和5年茨城県警察運営重点	1
第1 県警察の概要	2
第2 公安委員会制度	3
第3 令和4年度警察費当初予算の概要	4
第4 部門別指標	
1 生活安全部関係	5
2 地域部関係	9
3 刑事部関係	11
4 交通部関係	14
5 警備部関係	17

令和5年茨城県警察運営重点

指針 安全安心を実感できる「いばらき」の確立

副題 社会の変化に対応し 県民とともに歩む 県民のための警察

重点項目

○ 県民の生活を犯罪から守るための取組

- ・ 県民の安全安心を妨げる重要犯罪等の予防及び検挙の徹底
- ・ 人身の安全を脅かす事案への迅速・的確な対処
- ・ 高齢者の平穏な暮らしを脅かすニセ電話詐欺の根絶
- ・ 高水準で推移する住宅侵入窃盗、自動車盗の抑止及び検挙の徹底
- ・ 健全な社会を脅かす犯罪組織の壊滅

○ 総合的な交通安全対策

- ・ 子供や高齢者をはじめとする全ての道路利用者の安全の確保
- ・ 悪質・危険な運転者の排除等の交通事故抑止に資する取締りの徹底

○ 多様化する脅威への対策

- ・ 実空間との一体化が進むサイバー空間の脅威への適切な対処
- ・ 企業・研究機関等が保有する技術や情報を守るための対策の推進
- ・ 大規模行事における警衛警護警備の完遂
- ・ 県民の命を災害から守るための対策の推進

第1 県警察の概要
 1 組織機構（令和4年4月1日現在）



2 定員と負担状況

(1) 条例定員（令和4年4月1日現在）

	人 数	全国順位
		警 察 官
警察行政職員	581	13
計	5,395	13

(2) 警察官1人当たりの負担状況

	茨城県			備考
		全国平均	全国順位	
人口（人）	599	495	7	住民基本台帳《総務省》（R4.1.1）
刑法犯認知件数（件）	3.31	2.36	2	警察庁集計資料（R4年中）
人身交通事故発生件数（件）	1.30	1.18	14	警察庁集計資料（R4年中速報値）
110番受理件数（件）	36.06	33.97	8	警察庁集計資料（R3年中）
運転免許人口（人）	423	321	3	警察庁集計資料（R4.12.31）

(3) 警察官の増員状況

年 度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
定 員	4,009	4,189	4,309	4,394	4,484	4,574	4,636	4,636
増員数	180	120	120	85	90	90	62	-

年 度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
定 員	4,661	4,680	4,697	4,725	4,747	4,747	4,770	4,793
増員数	25	19	17	28	22	-	23	23

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H13以降
定 員	4,814	4,814	4,814	4,814	4,814	4,814	増員計
増員数	21	-	-	-	-	-	925

第2 公安委員会制度

1 公安委員会について

公安委員会は、警察行政の民主的運営、政治的中立性の確保の目的で導入された合議制の行政委員会であり、国に国家公安委員会を置いて警察庁を管理し、都道府県に都道府県公安委員会を置き、都道府県警察を管理している。

2 委員の任命・任期等

- (1) 県知事が県議会の同意を得て任命する（警察法第38条、同第39条）。
- (2) 委員の任期は3年とし、2回に限り再任されることができる（警察法第40条）。
- (3) 委員長は任期は1年とし、委員が互選する（警察法第43条）。

3 委員の活動

- (1) 運転免許、交通規制、犯罪被害者等給付金の裁定、古物営業等の各種営業の監督等。
- (2) 警察の取組、組織や人事管理の状況等について、警察本部長等から報告を受け、これを指導。

4 茨城県公安委員

役 職	氏 名	任 期
委員長	寺 門 一 義	令和2年12月21日 ～ 令和5年12月20日（1期目）
委 員	本 間 源 基	令和4年3月30日 ～ 令和7年3月29日（2期目）
委 員	藤 川 雅 海	令和4年10月29日 ～ 令和7年10月28日（1期目）

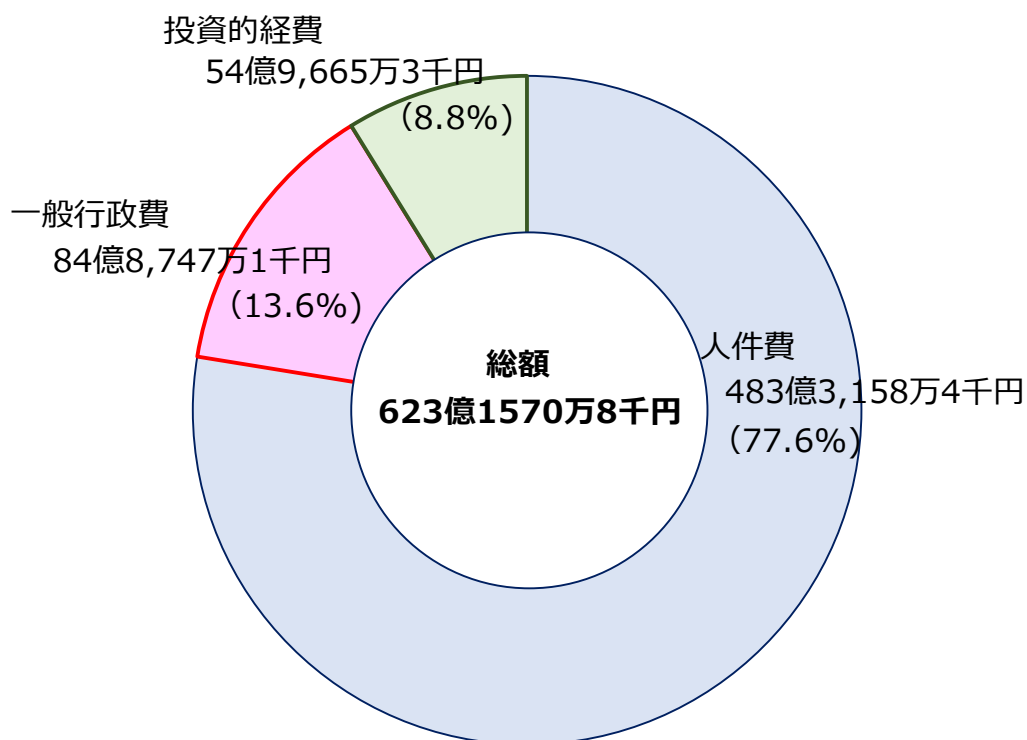
第3 令和4年度警察費当初予算の概要

1 総額

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増減額	
			増減額	増減率
警察費	62,315,708	64,183,616	△ 1,867,908	-2.9%
県予算	1,281,679,142	1,295,178,396	△ 13,499,254	-1.0%

2 内訳



人 件 費 : 職員給与費、退職手当、会計年度任用職員雇用費等

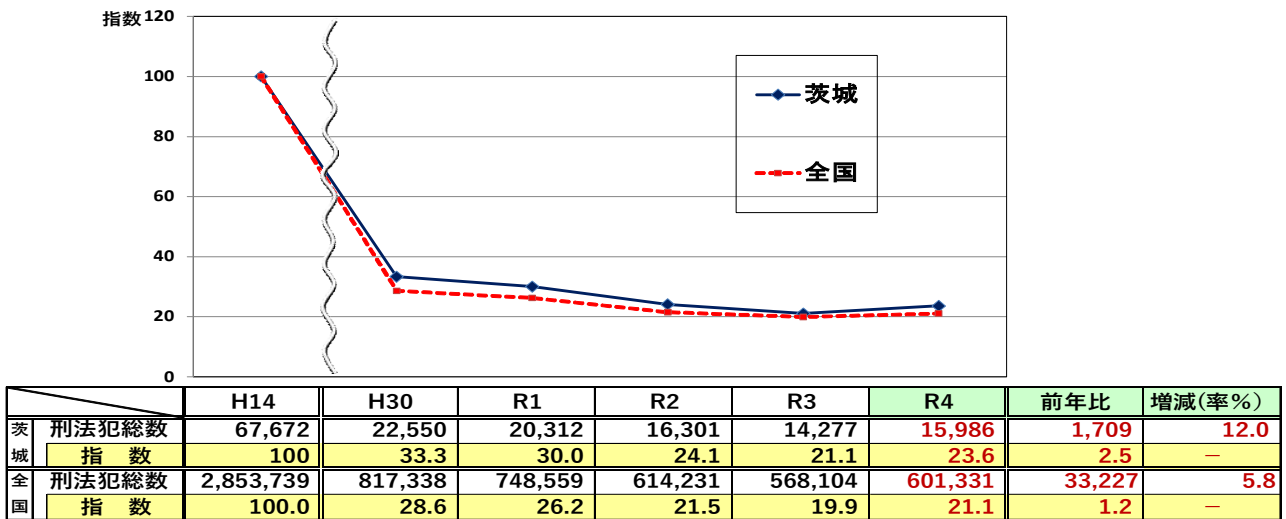
一般行政費 : 活動経費、庁舎等維持管理費、その他諸費

投資的経費 : 交通安全施設整備費、警察施設整備費

第4 部門別指標

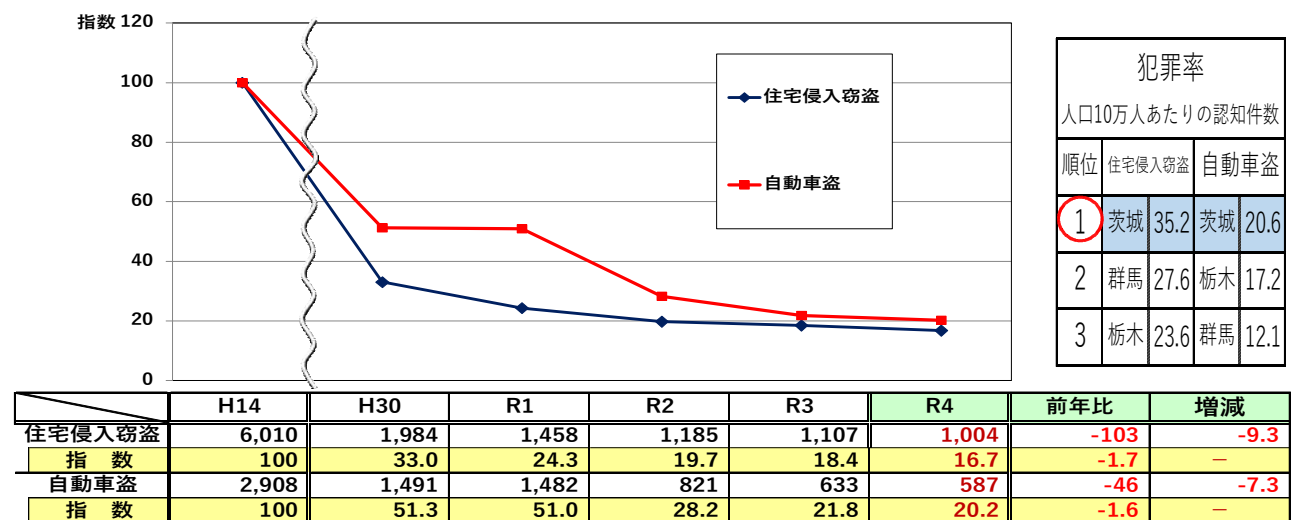
○ 県内の犯罪情勢について

1 刑法犯認知件数の推移



- 令和4年中の刑法犯認知件数は15,986件（前年比+1,709件、+12.0%）
- 茨城・全国とも、平成14年以来、20年ぶりに刑法犯認知件数が増加

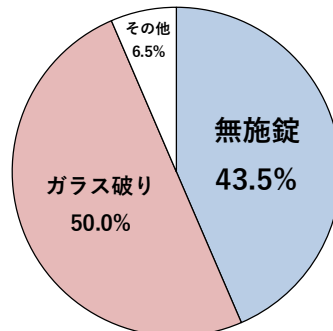
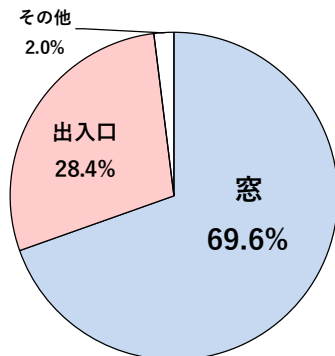
2 住宅侵入窃盗・自動車盗の認知状況



- 住宅侵入窃盗・自動車盗とも前年比で減少したが、犯罪率は全国ワースト

3 住宅侵入窃盗の特徴と抑止対策（令和4年中）

- (1) 侵入箇所 (2) 侵入方法



住宅侵入窃盗とは、「空き巣」、「忍込み」、「居空き」をいう。

- (3) 抑止対策

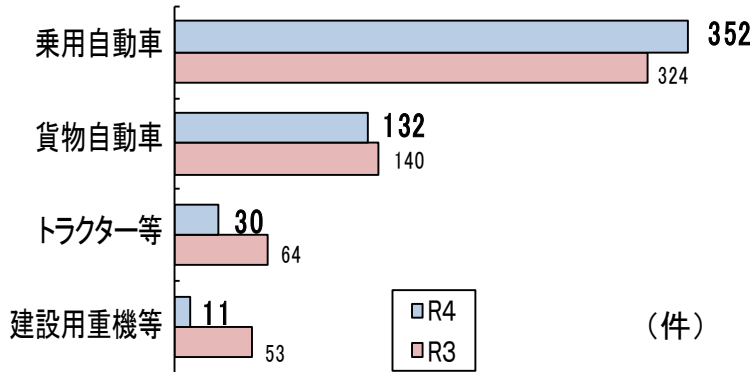
- 警察官のパトロール強化、住宅防犯診断の実施
- ひばりくん防犯メール、県警YouTube等を活用した情報発信（鍵かけの徹底や補助錠等の活用）
- 日本ロックセキュリティ協同組合茨城支部など関係機関・団体と協働した防犯講話の実施



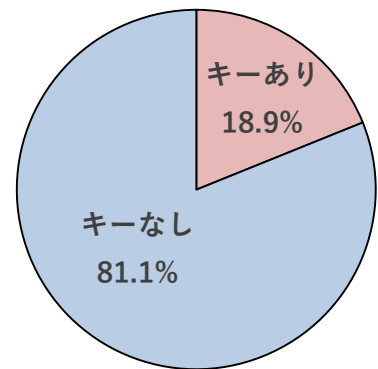
防犯器具の展示、説明

4 自動車盗の特徴と抑止対策（令和4年中）

(1) 車種別認知状況



(2) エンジンキーの状態



(3) 抑止対策

- 警察官のパトロール強化、車両防犯診断の実施
- 県警HP、ひばりくん防犯メール、県警YouTube等を活用した情報発信
- 自動車関連事業者等と連携した盗難防止器機器の普及啓発



広報啓発動画



バー式ハンドルロック



事業者との合同キャンペーン

(4) ヤード対策の推進

- 県内ヤード把握数（令和4年末）
494か所
- ヤード対策推進状況（令和4年中）
 - ・ 条例等に基づき、384回の立入検査、1,551回の立寄りを実施
 - ・ 盗品等の罪で9人、出入国管理法違反で3人を検挙

5 街頭防犯カメラの設置促進

- 茨城県警察街頭防犯カメラ設置費補助事業の実施（令和3年度から3カ年）
- 市町村補助制度、自治体交付金の活用等、自主的な設置を促進する情報提供



街頭防犯カメラ（3方向）



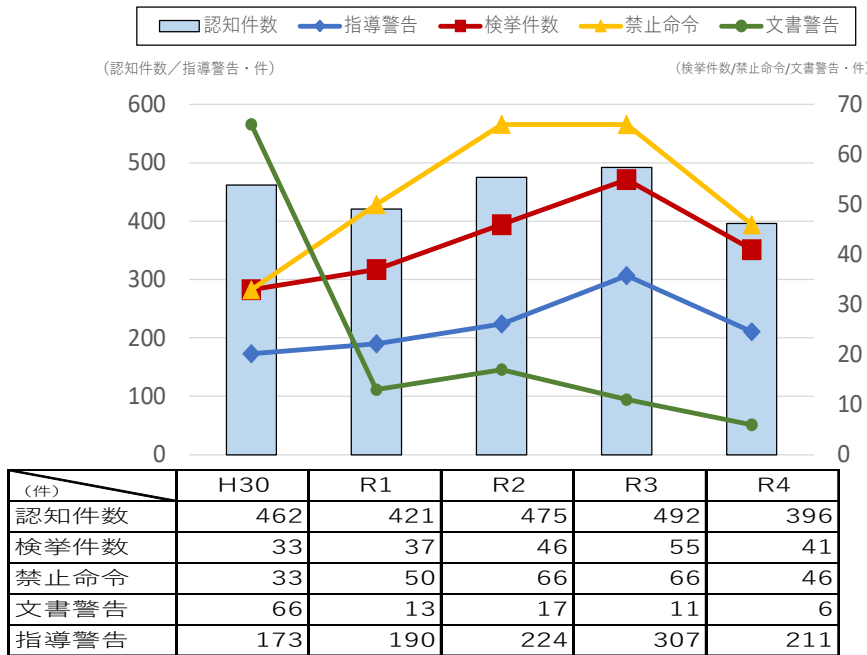
防犯カメラ作動を示す看板



設置完成検査の様子

○ ストーカー・DV事案について

1 ストーカー事案の推移



○ 認知件数 396件
(前年比-96件、
-19.5%)

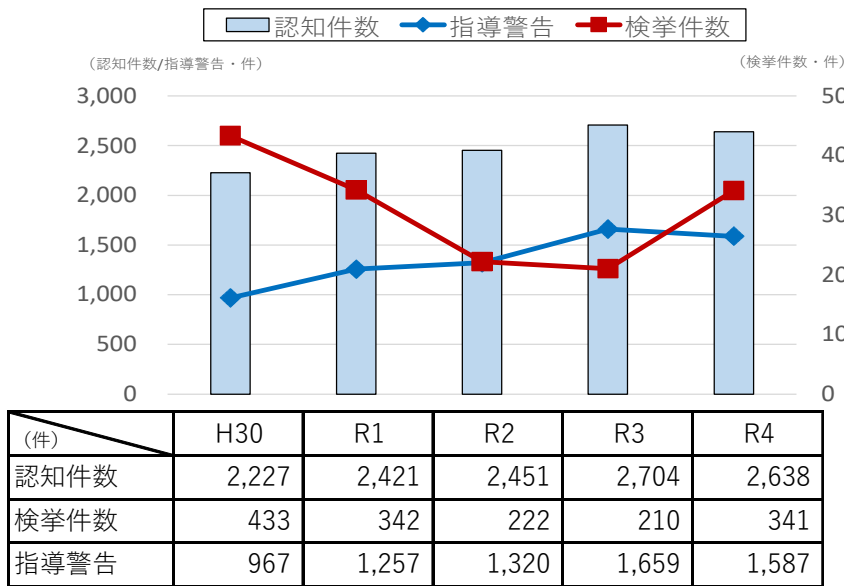
○ 検挙件数 41件
(前年比-14件、
-25.5%)

【内訳】

- ・ ストーカー規制法違反19件
- ・ 刑法犯等22件

R4年は暫定値

2 DV (配偶者からの暴力) 事案の推移



○ 認知件数 2,638件
(前年比-66件、
-2.4%)

○ 検挙件数 341件
(前年比+131件、
+62.4%)

【内訳】

- ・ 保護命令違反2件
- ・ 刑法犯等339件

R4年は暫定値

3 ストーカー・DV被害者対策



ストーカーやDV相談者向け小冊子



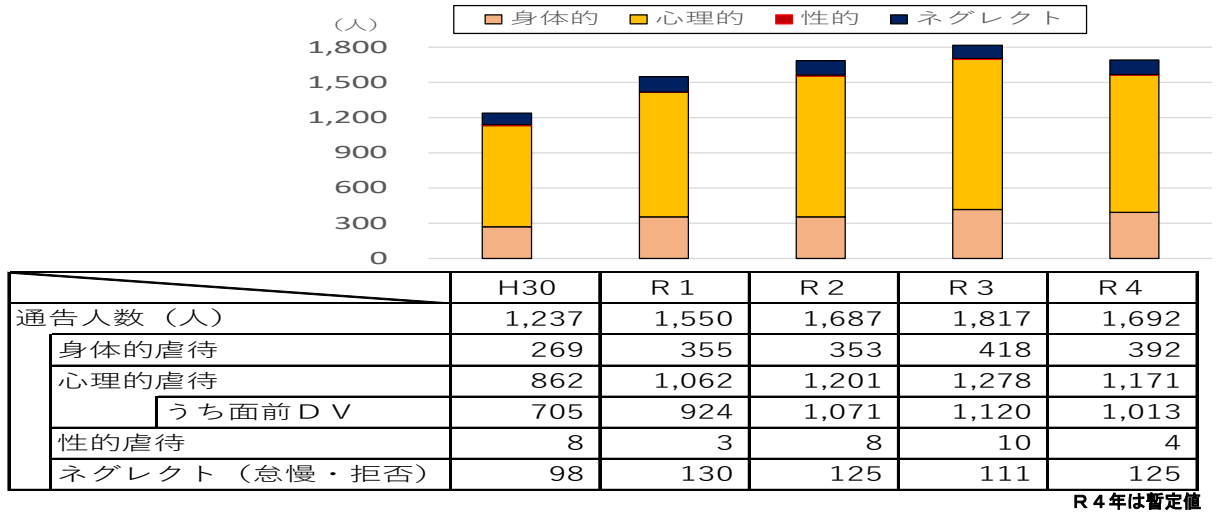
若年層向け視聴覚教材



県警SNSによる情報発信

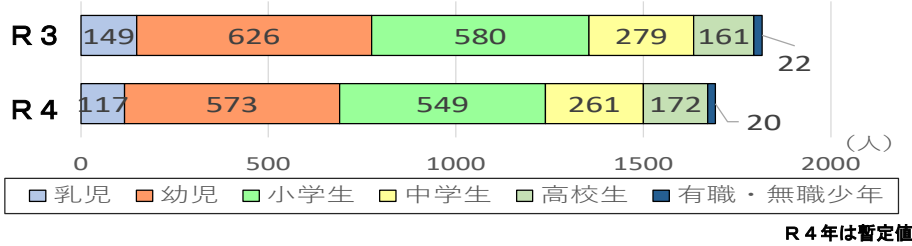
○ 児童虐待事案について

1 児童相談所への児童虐待通告人数



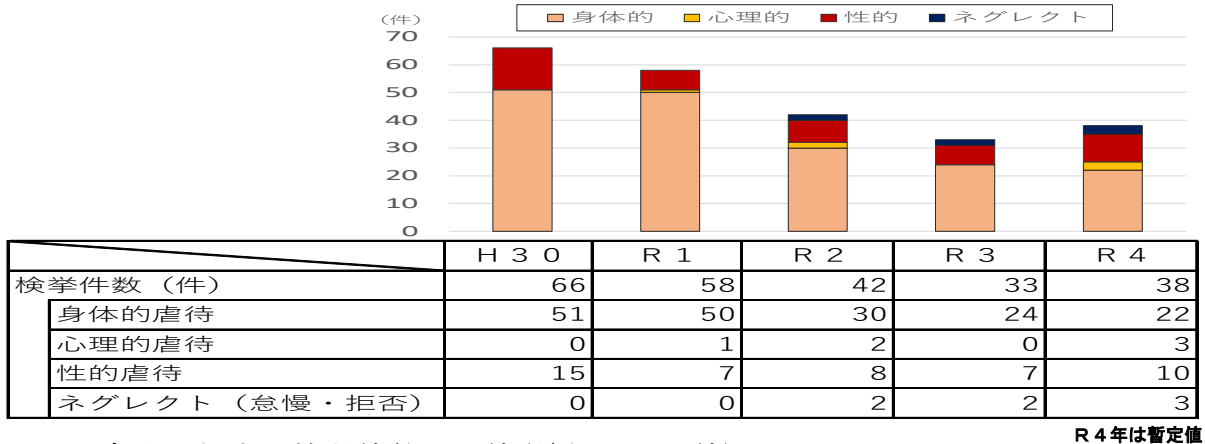
- 令和4年中、通告人数は1,692人（前年比-125人、-7.4%）
- 心理的虐待が1,171人と最も多く、通告人数全体の約7割
- 心理的虐待のうち、面前DVが1,013人で同虐待の約9割

2 学職別通告人数



- 令和4年中、幼児と小学生で約3分の2
- 高校生を除き通告人数が減少

3 児童虐待事件の態様別検挙状況の推移



- 令和4年中、検挙件数は38件(前年比+5件)
- 未成年者誘拐1件、暴行・傷害等24件、監護者性交等10件、保護責任者遺棄3件

4 県と警察との情報共有の実績

	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
県から警察への情報提供(件)		1,231	1,603	1,672	1,927	2,054
生命・身体に重大な危害が及ぶおそれがある情報(件)	36	111	121	87	101	107



県・警察等合同の現場対応訓練

○ 地域に密着した交番・駐在所の活動について

1 地域住民の安心感を醸成するための取組

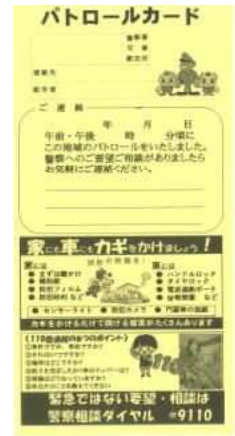
- (1) 犯罪等が多発する時間帯・地域に重点を置いたパトロール
- (2) 制服姿を積極的に「見せる」パトロール活動
- (3) パトロールカード等を活用した「知らせる」パトロール活動



【パトカーによる警戒】



【通学路における立哨】



【パトロールカード】

2 地域住民と連携した活動

- (1) 巡回連絡による家庭・事業所等に対する防犯指導や意見・要望等の聴取
- (2) ミニ広報紙や交番速報等による情報発信活動の推進
- (3) 交番・駐在所連絡協議会による地域の治安に関する問題等の協議、住民からの警察への意見・要望等の把握



【巡回連絡】



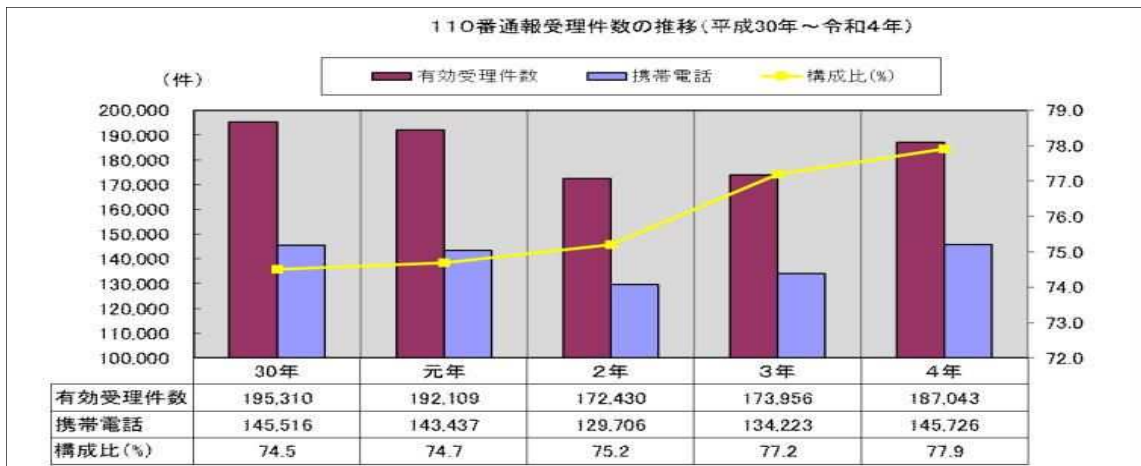
【交番連絡協議会】



【ミニ広報紙】

○ 110番通報への迅速・的確な対応

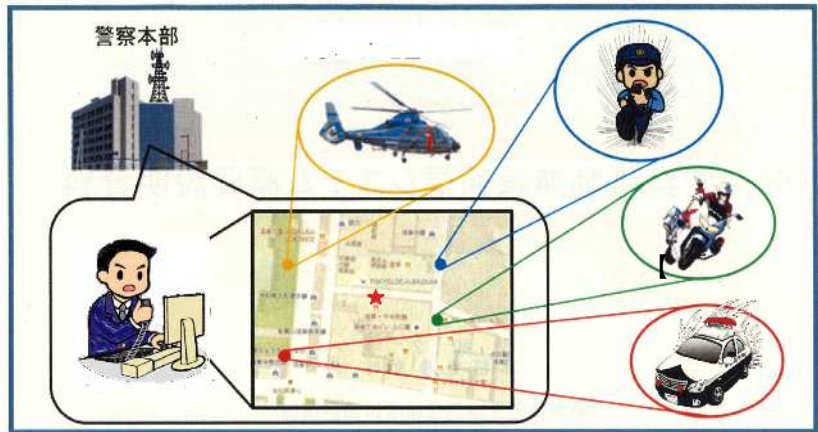
1 通報受理状況



- ※ 110番通報受理件数には、いたざら電話、間違い電話等は計上していない。
- ・ 令和4年中の110番通報受理件数は18万7,043件(前年比+1万3,087件)
 - ・ 1日当たり約512件、2分49秒に1件の割合で受理している。
 - ・ 携帯電話からの110番通報が77.9%を占める。

2 犯罪被害の予防・検挙のための迅速・的確な対応

- (1) 「位置情報通知システム」「カーロケータシステム」等を利用した迅速な初動対応
- (2) 「110番映像通報システム」の積極的活用
- (3) 110番通報の適切な利用促進のための広報啓発活動



【通信指令イメージ】



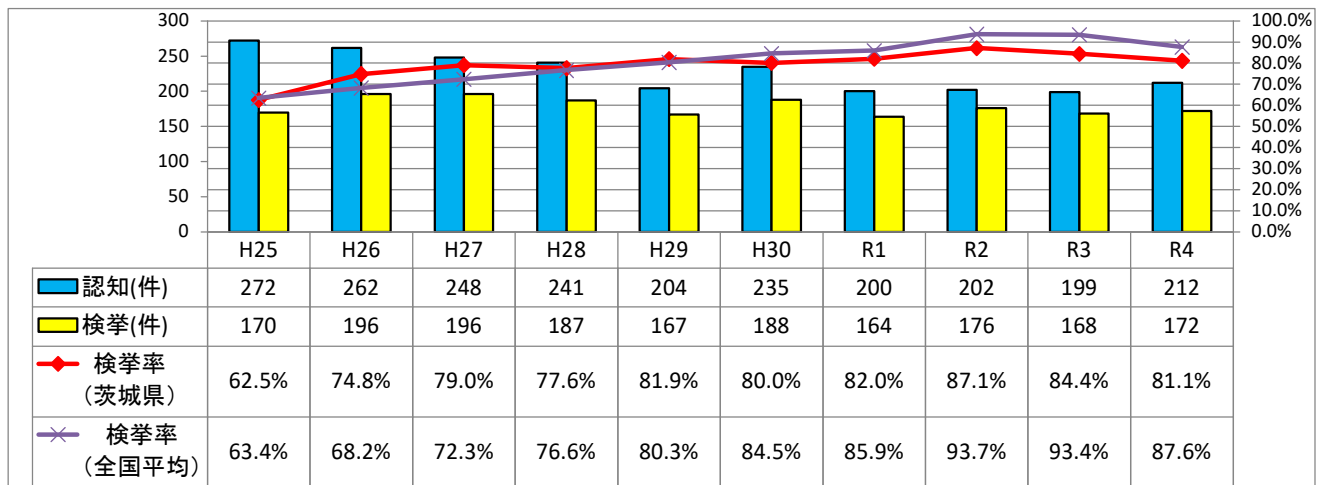
110番通報の受理時に、警察（通信指令室）が現場の映像等を必要と判断した場合、通報された方からスマートフォンで撮影した映像等の送信を受けることで、現場の状況をより詳しく把握し、迅速かつ的確な警察活動の推進が期待されるもの

※ 令和4年10月1日から全国警察において試行運用が開始

【110番広報用チラシ】

○ 重要犯罪の検挙について

1 認知・検挙状況（過去10年間の推移）



※ 重要犯罪：殺人、強盗、強制性交等、強制わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買

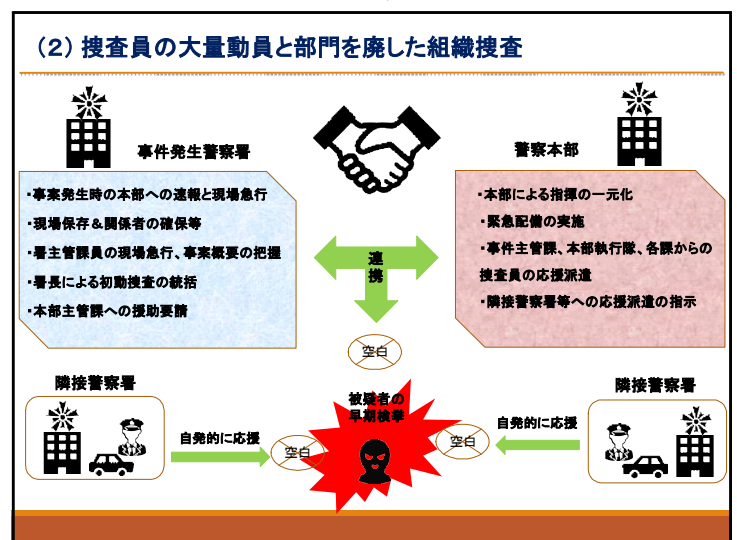
2 認知・検挙状況（令和4年と令和3年の比較）

	認知件数				検挙件数				検挙率			検挙人員			
	R4	R3	前年比		R4	R3	前年比		R4	R3	前年比 ポイント	R4	R3	前年比	
			増減数	増減率%			増減数	増減率%						増減数	増減率%
全国	9,536	8,821	715	8.1	8,354	8,240	114	1.4	87.6	93.4	-5.8	7,425	7,372	53	0.7
茨城	212	199	13	6.5	172	168	4	2.4	81.1	84.4	-3.3	162	130	32	24.6
殺人	23	24	-1	-4.2	23	24	-1	-4.2	100.0	100.0	0.0	19	20	-1	-5.0
強盗	37	23	14	60.9	24	20	4	20.0	64.9	87.0	-22.1	38	32	6	18.8
放火	27	14	13	92.9	22	10	12	120.0	81.5	71.4	10.1	16	10	6	60.0
強制性交等	39	21	18	85.7	27	17	10	58.8	69.2	81.0	-11.8	24	17	7	41.2
強わい	76	115	-39	-33.9	67	95	-28	-29.5	88.2	82.6	5.6	50	50	0	0.0
略取誘拐	10	2	8	400.0	9	2	7	350.0	90.0	100.0	-10.0	15	1	14	1400.0
全国順位	13位	13位			12位	13位			35位	41位		12位	14位		

3 検挙のための取組

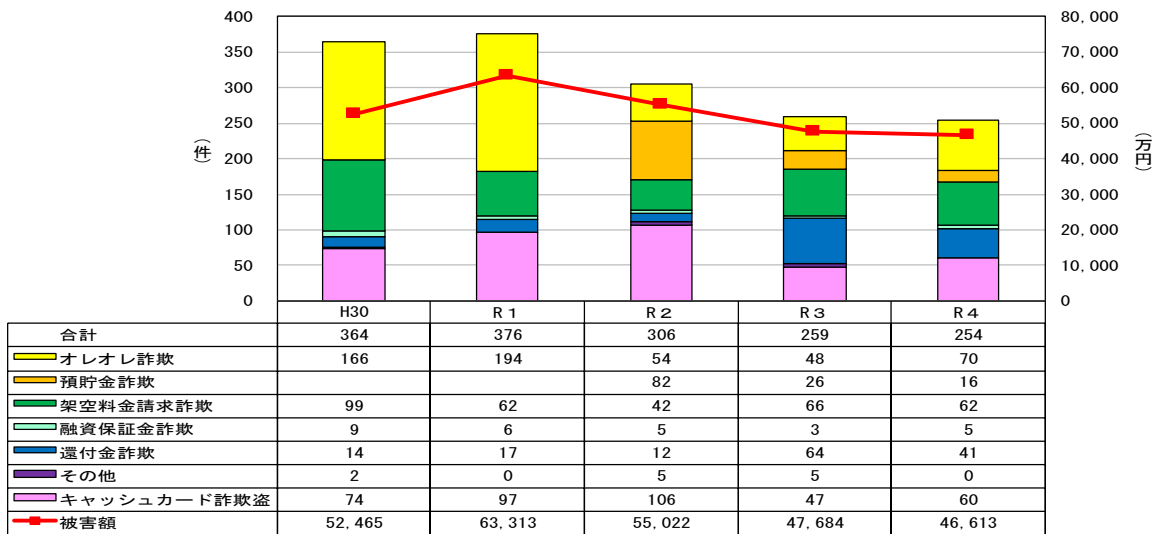
- (1) 徹底した初動捜査の推進
- (2) 捜査員の大量動員と部門を廃した組織捜査
- (3) 未解決重要事件の捜査強化
 - 防犯カメラ画像解析
 - DNA型鑑定等の科学捜査の推進
- (4) 戦略的な情報発信活動の推進

<重要事件発生時の初動捜査イメージ>



○ ニセ電話詐欺の現状と対策について

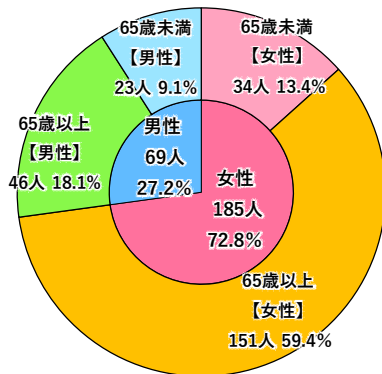
1 認知件数・被害額（過去5年間）



※ R 4 の値は暫定値（以下同）

2 被害者の年齢・性別

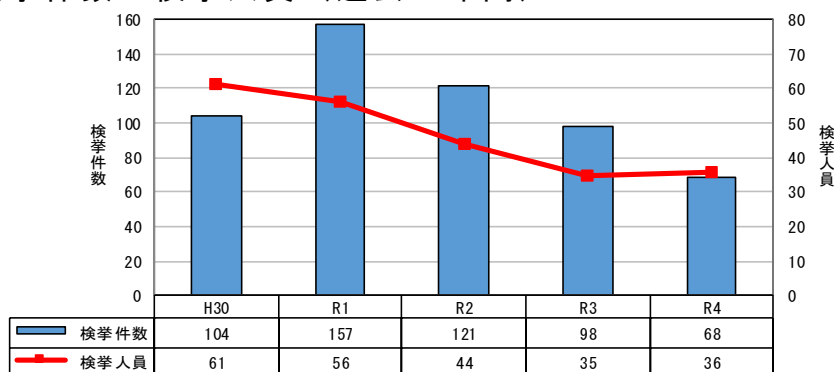
(1) 年齢構成（全体）



(2) 年齢・性別構成（手口別）

手口別	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代		90歳代		合計			
	男女		男女		男女		男女		65歳未満	65歳以上	男	女	男	女	男	女	男	女		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
オレオレ							1			1	9	23	4	29	1	2	14	56		
預貯金												5	2	9			2	14		
架空料金	1	1	3	2	8	6	4	7	4	6	3	8	6	2	1			32	30	
融資保証金	1				3					1								5	0	
還付金							1	2	11	3	23		1					5	36	
詐欺盗									1			15	9	30	2	3	11	49		
その他																		0	0	
合計	1	1	1	3	5	8	6	6	10	16	9	27	17	50	17	69	3	5	69	185

3 検挙件数・検挙人員（過去5年間）



4 各種対策

(1) 被害防止対策

- ア 高齢女性を対象とした市町村や自治会等との連携による注意喚起
- イ 金融機関を始めとした関係事業者等との連携による被害防止
- ウ 留守番電話設定の推奨、自宅保管金に関する危険性の周知

(2) 検挙対策

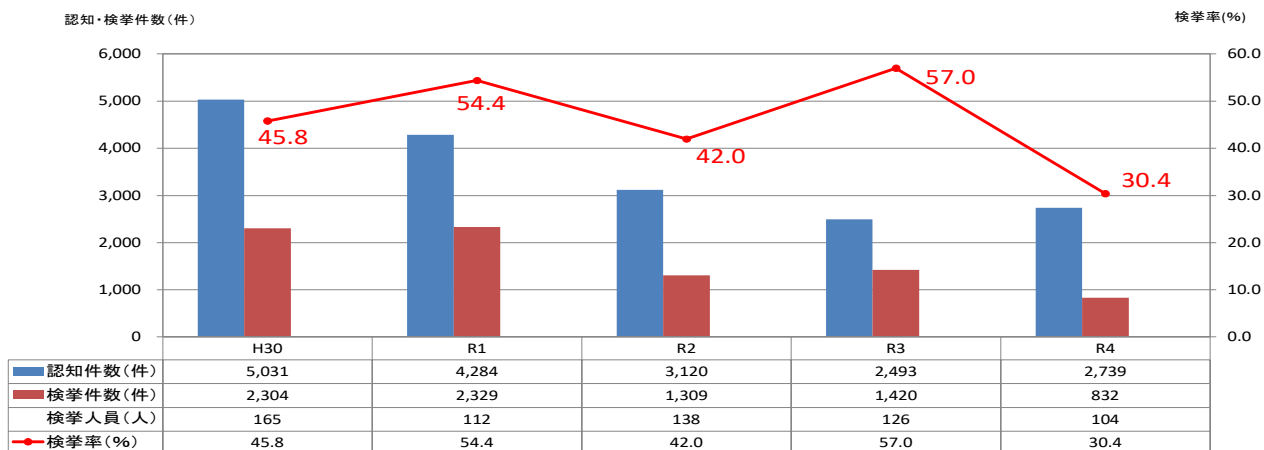
- ア 職務質問や「だまされた振り作戦」による現場検挙
- イ 突き上げ捜査による中枢被疑者の検挙

(3) 犯行ツール対策

- ア 犯行に利用された預貯金口座の即時凍結
- イ 犯行電話番号の利用停止要請
- ウ 口座の不正譲渡や携帯電話の不正契約等の取締り

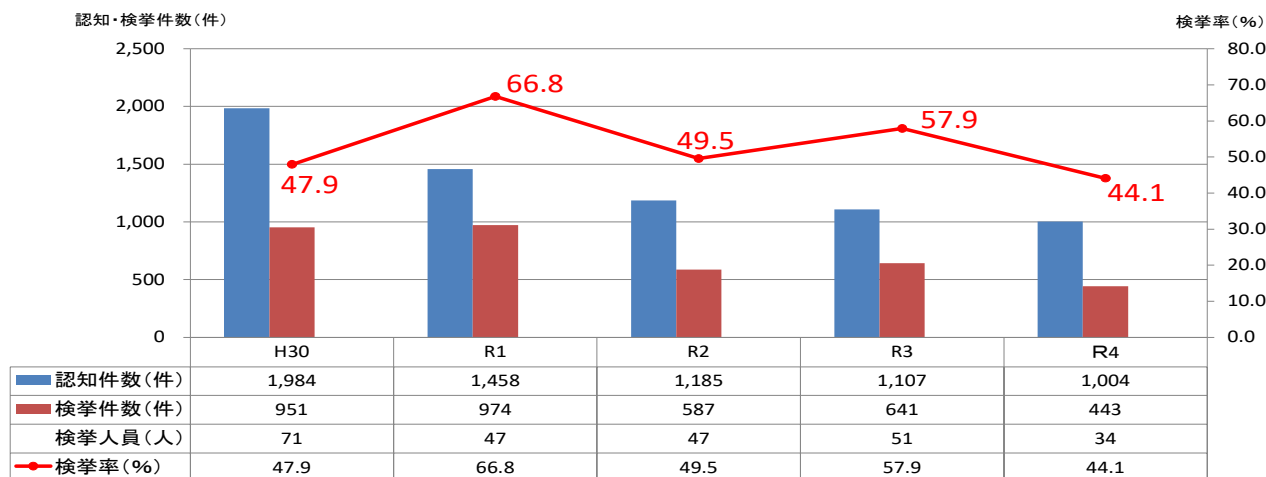
○ 重要窃盗犯の検挙について

1 重要窃盗犯の認知・検挙状況（過去5年間）



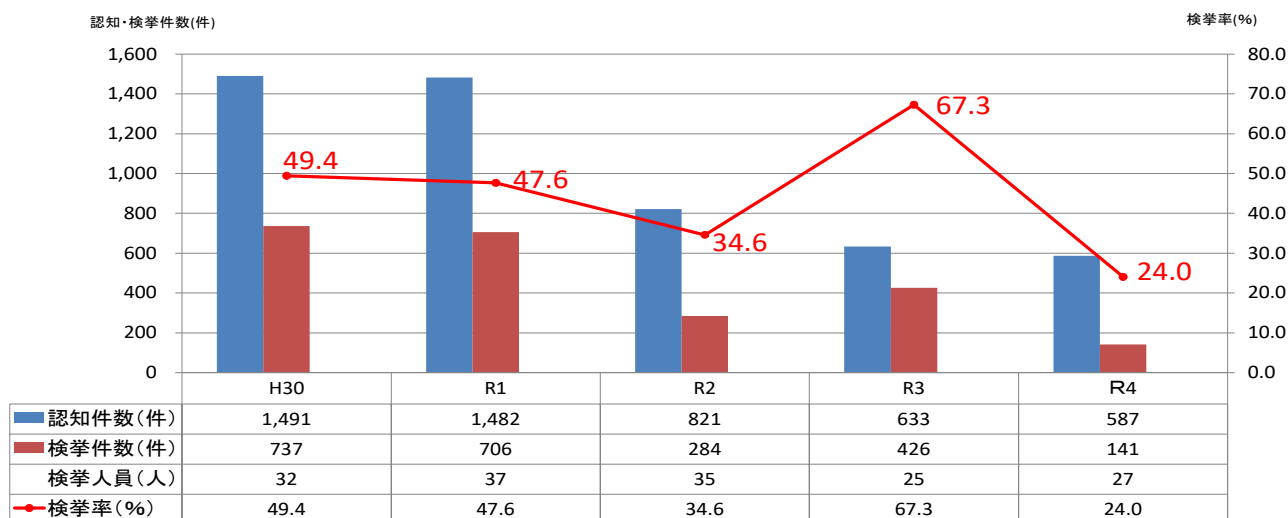
※重要窃盗犯：侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すり

2 住宅侵入窃盗の認知・検挙状況（過去5年間）



※住宅侵入窃盗：空き巣、忍込み、居空き

3 自動車盗の認知・検挙状況（過去5年間）



4 対策

- ・ 鑑識活動や防犯カメラ画像の解析、聞き込み捜査等の基礎捜査の徹底
- ・ 組織の実態を解明するための突き上げ捜査
- ・ 他県警と連携した戦略的な合同捜査
- ・ 科学技術を活用した事件分析

○ 交通安全対策の推進について

1 令和4年中の人身交通事故発生状況

(1) 県内の人身交通事故発生状況

	R4 年中	R3 年中	増減数	
			増減数	率
発生件数	6,271	5,929	342	+ 5.8%
死亡事故件数	88	79	9	+11.4%
死者数	91	80	11	+13.8%
負傷者数	7,699	7,243	456	+ 6.3%

- 人身交通事故発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数いずれも前年と比べて増加
- 死者数91人は、前年比+11人で全国ワースト9位

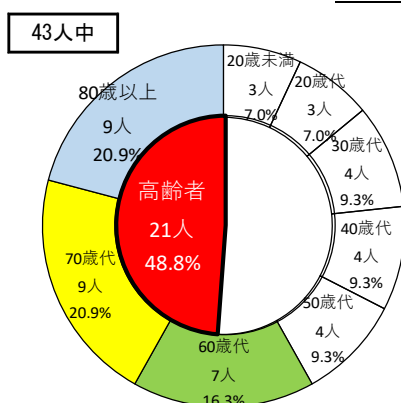
(2) 死者数上位都道府県

順位	都道府県	死者数	前年比
1位	大阪	141	+ 1
2位	愛知	137	+20
3位	東京	132	- 1
4位	千葉	124	+ 3
5位	兵庫	120	+ 6
6位	北海道	115	- 5
7位	神奈川	113	-29
8位	埼玉	104	-14
9位	茨城	91	+11
10位	静岡	83	- 6
	全国	2,610	-26

2 子供や高齢者をはじめとする全ての道路利用者の安全の確保

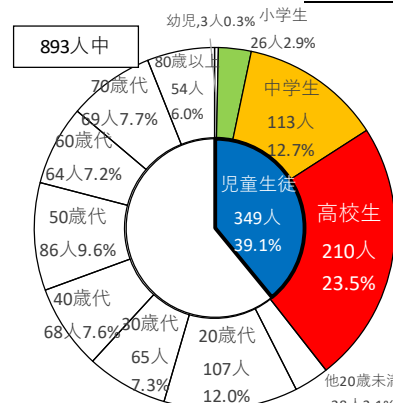
(1) 人身交通事故発生状況（令和4年中）

ア 四輪車（年齢層別死者数）



- 死者の約5割（48.8%）が高齢者

イ 自転車（年齢層別死傷者数）

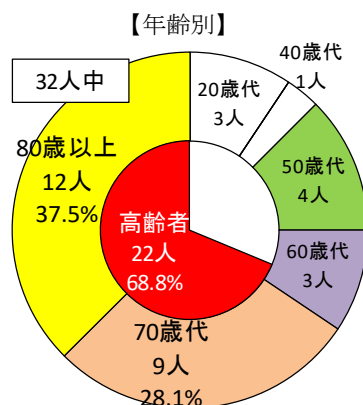


- 死傷者の約4割（39.1%）が児童・生徒
- ヘルメット非着用の致死率は着用の約3.6倍

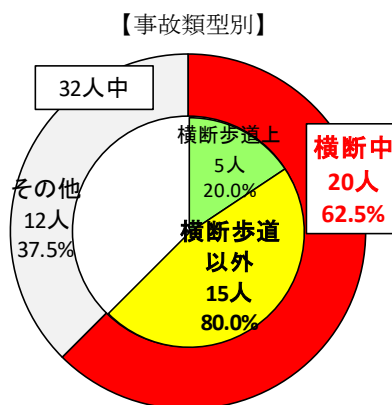
【ヘルメット着用別致死率】 （過去5年）



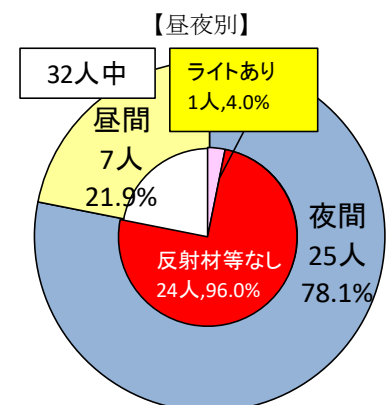
ウ 歩行者（年齢層別死者数、事故類型別死者数、昼夜別死者数）



- 死者の約7割（68.8%）が高齢者



- 死者の約6割（62.5%）が横断中



- 死者の約8割（78.1%）が夜間、反射材等なしが96%

(2) 対策

ア 高齢運転者対策

- シルバードライバーセミナーの実施
- 安全運転サポート車の普及啓発活動の推進

イ 自転車対策

- 改正道路交通法の施行（令和5年4月1日）に伴う自転車ヘルメット着用努力義務化に向けた関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進
- 児童・生徒等に対する交通安全教育、街頭指導活動の推進
- 自転車通行空間の整備

ウ 歩行者対策

- 横断歩行者交通事故防止対策「その手で合図！止まってくれてありがとう大作戦」の推進
- 反射材用品の着用促進に向けた効果的な広報啓発活動の推進



【サポカー普及啓発活動】



【自転車街頭指導活動】



【反射材着用促進活動】

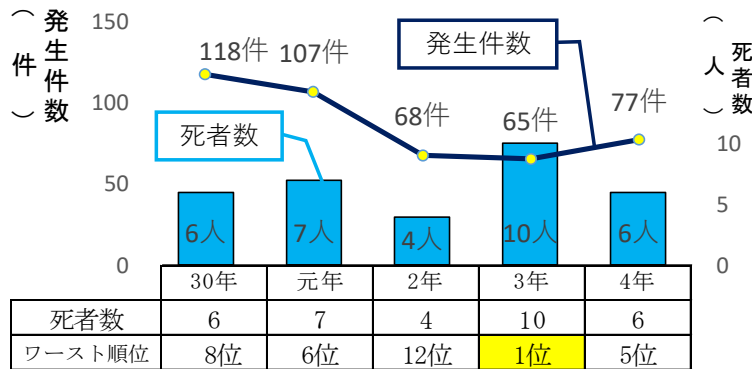


【啓発チラシ】



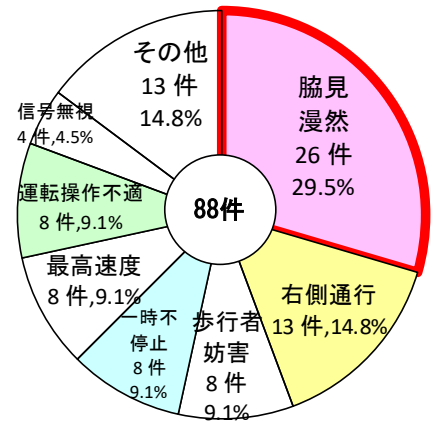
3 悪質・危険な運転者の排除

(1) 飲酒運転による人身交通事故発生状況
(平成30年から令和4年)



○ 昨年の飲酒運転による交通事故死者数は、一昨年から4人減少するも飲酒運転による人身交通事故発生件数は一昨年から12件増加

(2) 原因別死亡事故発生件数
(令和4年中)



○ 脇見漫然運転が全体の約3割を占める

(3) 対策

- ア 飲酒運転の根絶に向けた交通指導取締りの強化と規範意識の確立
- イ 車両の運転者に緊張感や集中力の持続を促すための街頭活動の推進



【飲酒検問】



【セーフティパトロール】



【啓発チラシ】

○ 多様化する脅威への対策

1 実空間との一体化が進むサイバー空間の脅威への適切な対処

(1) サイバー空間をめぐる情勢

- ・ 匿名性が高く、追跡が困難なサイバー事案が国内外で顕在化
- ・ 代表的な手口である標的型メール攻撃の手口が巧妙化
- ・ 県内ではサイバー事案に関する相談が増加傾向

(2) 脅威への対処に係る組織基盤の強化

- ・ 部門間の連携、人材の育成
- ・ 資機材の整備

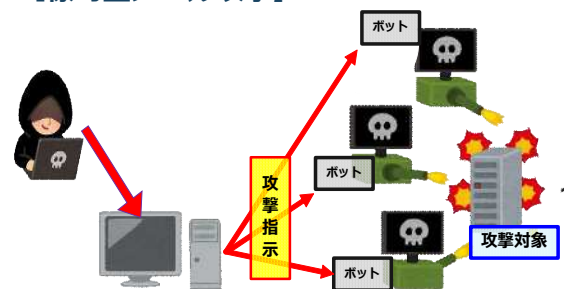
(3) サイバー事案の取締り

- ・ サイバーパトロールの推進
- ・ 警察庁や他の都道府県警察と連携した捜査
- ・ 警察庁を通じた国際捜査の推進

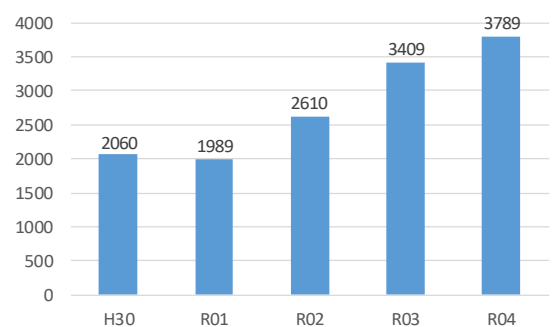
(4) 官民連携の推進

- ・ 重要インフラ事業者等への個別訪問等による意見交換・情報共有
- ・ サイバー事案の発生を想定した共同訓練

【標的型メール攻撃】



サイバー犯罪相談受理件数



重要インフラ事業者とは



2 企業・研究機関等が保有する技術や情報を守るための対策の推進

(1) 経済安全保障をめぐる情勢

- ・ 本県にも先端技術保有企業が多数存在
- ・ 情報流出が我が国の安全保障に重大な影響を及ぼすおそれ

(2) アウトリーチ活動の推進

- ・ 訪問活動等による効果的な情報提供
- ・ 企業等からの相談への適切な対応
- ・ 関係機関・団体との連携



警察のアウトリーチ活動

3 大規模行事における警衛・警護警備の完遂

- (1) 本年開催予定の大規模行事
 - ・ 第46回全国育樹祭（本年11月11日～12日開催）
 - ・ G7 茨城水戸内務・安全担当大臣会合（本年12月8日～10日開催）
- (2) 体制の確立
- (3) 関係機関・団体等との協力体制の構築



警 護 訓 練

4 県民の命を災害から守るための対策の推進

- (1) 危機管理体制の持続的推進
 - ・ 災害対処体制の不断の見直し
 - ・ 防災関係機関との連携
 - ・ 資機材の整備
- (2) 災害対処能力の向上
 - ・ 初動対応訓練や被災地映像等の収集・伝送訓練、水害救助訓練
 - ・ 防災関係機関・団体等との合同訓練



埋没車両からの救助訓練